



昨年好評の“デジタルアート花火”や“風鈴小径”がパワーアップして登場

**ECO EDO 日本橋 2019～五感で楽しむ、江戸の涼～**

日本橋・八重洲・京橋でひと涼み。



2019年7月5日(金)～9月23日(月・祝)日本橋地域で開催

ECO EDO 日本橋 実行委員会および名橋「日本橋」保存会は、日本橋地域において2019年7月5日(金)から9月23日(月・祝)の期間、今年で12回目となる恒例の夏イベント『ECO EDO 日本橋 2019～五感で楽しむ、江戸の涼～』を開催します。

『ECO EDO 日本橋』では、江戸時代に日本橋で育まれた“涼”をとる生活の知恵や工夫を現代流にアレンジした様々なイベントを、街中で開催します。“見て”涼を感じる「金魚」「提灯」「花火」、 “食べて” “香って”涼をとる「限定グルメ」、 “着て”涼をとる「浴衣」、涼やかな音を“聴いて”楽しむ「風鈴」など、日本情緒あふれる納涼気分を五感で体感いただけます。

今年は、昨年好評を得た人気イベントがアップデートします。金魚大提灯参道のデジタルアートでは、移り行く季節を体感できるような演出を追加します。また、約200個の風鈴が装飾された日本橋の新たなフォトスポット「森の風鈴小径(こみち)」には夜のライトアップが施され更に楽しめる演出となっています。

その他にも水族アート展覧会「ECO EDO 日本橋 アートアクアリウム 2019」や「金魚スイーツ&バルさんぽ」、「橋楽亭ゆかたステーション」など日本橋の街を丸ごと楽しめるイベントを多数実施いたします。

**《主なイベント内容》**

昨年の様子

① “デジタル花火”で移ろう夏を演出  
「金魚大提灯参道」**RENEWAL!**

福德神社に続く参道「仲通り」に登場する、江戸情緒あふれる粋な夕涼みスポット「金魚大提灯参道」が今年も登場。その仲通りを花火の幻想的なライトアップで彩るデジタルアートは今年更にパワーアップし、季節に合わせ演出が変化します。視覚、聴覚で夏の変化を感じていただき、涼をとることができます。



昨年の様子

② 夜のライトアップを初実施  
「森の風鈴小径(こみち)」**RENEWAL!**

福德神社から福德の森へと続く小径に約200個にも及ぶ江戸風鈴を装飾。風鈴の音で涼を楽しむ空間を演出します。今年初めて夜のライトアップを実施。風鈴がライトに照らされ、更に幻想的でフォトジェニックな空間となります。



金魚モチーフの限定メニュー

③ 名店の期間限定グルメ  
「金魚スイーツ&バルさんぽ」

日本橋エリアの老舗企業や百貨店、高級ホテルまで、日本橋地域の110店舗が提供する「金魚」をモチーフにした涼メニューを目で見て、食べて、店舗を回遊して楽しむイベントです。

## 「ECO EDO 日本橋 2019～五感で楽しむ、江戸の涼～日本橋・八重洲・京橋でひと涼み。」実施概要

期 間：2019年7月5日(金)～9月23日(月・祝)

問い合わせ先：日本橋案内所 03-3242-0010 ※7月5日(金)～9月23日(月・祝) 10:00～21:00

W E B：「まち日本橋」内予告ページ ※6/5(水)公開

■日本語版 <https://www.nihonbashi-tokyo.jp/ecoedo2019/>

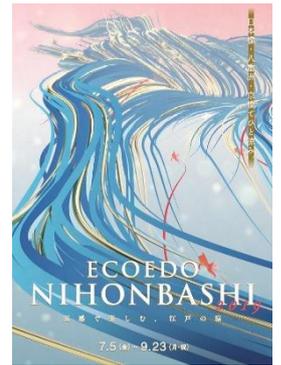
■英語版 <https://www.nihonbashi-tokyo.jp/en/ecoedo2019/>

主 催：ECO EDO 日本橋 実行委員会、名橋「日本橋」保存会

特別協賛：三井不動産株式会社

協 賛：アートアクアリウム実行委員会、コレド室町1～3、コレド日本橋、  
大日本除虫菊株式会社(金鳥)、東京建物株式会社、日本橋高島屋、日本橋三井タワー、  
日本橋三越本店、野村不動産株式会社、マンダリン オリエンタル 東京

総合プロデューサー：木村英智(アートアクアリウムアーティスト)



ECO EDO 日本橋 2019  
メインビジュアル

### ECO EDO 日本橋 2019 期間中の主催イベント

#### ① **RENEWAL!** 昨年好評につき、今年も仲通りに「金魚大提灯参道」が登場

福德神社に続く参道 仲通りに、昨年に引き続き今年も江戸情緒あふれる雰囲気を楽しめるスポット「金魚大提灯参道」が登場。夏を感じさせる「金魚大提灯」が今年も仲通りに並びます。また、参道をデジタル照明で映し出す「仲通りのライティング演出」が更にパワーアップ。今年の演出は、日本橋に拠点を置くクリエイティブカンパニー「flapper3」が制作します。

期 間：7月5日(金)～9月23日(月・祝)

点灯時間：19:00～23:00

場 所：仲通り(コレド室町1・2の間)

#### ◎ 「仲通りのライティング演出」について

仲通りにデジタル照明を用いて表現するデジタルアートが、「flapper3」の演出によりパワーアップ。今年は季節に合わせたプロジェクション演出により、日本橋の夏の移ろいを体感できます。視覚、聴覚で夏の変化を感じていただき、涼をとることができます。



昨年の様子

#### ◎ 「金魚大提灯」「コラボ提灯」について

昨年に引き続き仲通りには、『ECO EDO 日本橋 2019』総合プロデューサーである木村英智氏がデザインを監修した、高さ約1.8mの金魚柄の巨大な提灯が登場します。また、仲通りに並ぶ通常サイズの提灯は、日本橋に支店を構える「大日本除虫菊株式会社(金鳥)」とコラボレーション。昨年に引き続き特別にデザインした提灯で、江戸の情緒あふれる夏の装いを演出します。



好評の「金魚大提灯」今年も登場

#### 【ECOEDO 日本橋×nihonbashi β】

日本橋の街とクリエイターを結ぶ共創プロジェクト nihonbashi β。ECOEDO 日本橋では日本橋に居を構えるクリエイティブカンパニー「flapper3」と協業します。

#### 【メインビジュアル】「仲通りライティング」「浴衣めぐる日本橋」の制作を担当する「flapper3」

2018年、日本橋に拠点を移し、今年で設立10周年を迎えるクリエイティブスタジオです。モーショングラフィックを軸に、表現媒体を問わず幅広い分野のデザインを手掛けています。特に、映画、ゲーム、音楽といったエンターテインメント領域における映像演出を得意としており、映画「エヴァンゲリオン新劇場版：Q」、ゲーム「ACE COMBAT INFINITY」のモニターグラフィックスデザイン、初音ミク「マジカルミライ」、安室奈美恵、Mr.Children など様々なアーティストのコンサート映像を制作しています。



flapper3 ロゴ

② **RENEWAL!** 今年は夜もフォトジェニックなスポットに! 「森の風鈴小径(こみち)」

福德神社から福德の森へと続く小径に約200個にも及ぶ江戸風鈴を装飾。風鈴の音で涼を楽しむ空間を演出します。今年は初めて夜のライトアップを実施。風鈴がライトに照らされ幻想的な空間をつくりだします。

期 間：7月5日(金)～9月23日(月・祝)

※ライトアップは19:00～23:00

場 所：福德の森通路(福德神社横)



ライトアップイメージ



昨年の様子

③ 日本橋の食を求めて街をぶらり 「金魚スイーツ&バルさんぽ」

日本橋地域の商業施設・老舗店舗など **110店舗** (6月5日時点)で、昨年も大人気の金魚をモチーフにしたフォトジェニックなスイーツメニュー、バルメニュー、アルコールメニューを提供します。

期 間：7月5日(金)～9月23日(月・祝) ※店舗により異なる

店舗メニュー例：※メニュー名・価格・商品画像は全て予定です。



店舗：ザ マンダリン オリエンタル  
グルメショップ  
名称：左:金魚ジョーヌ、右:金魚ルージュ  
価格：各 864 円(税込)



店舗：日本橋 日月堂  
名称：冷やし金つば(仮)  
価格：430 円(税込)



店舗：パティスリー-ISOZAKI  
名称：金魚ゼリー  
価格：648 円(税込)



店舗：室町 砂場  
名称：氷うどん  
価格：大 918 円 小 702 円(税込)



店舗：マンツォヴィーノ  
名称：月と金魚 ～極上黒毛和牛ユッケ トリュフ風味～  
価格：1,820 円(税込)

#### ④ 「橋楽亭ゆかたステーション(事前予約制)」

和室でのゆかた着付けサービス。ゆかたレンタル&着付けも行います。

期 間：7月6日(土)～9月21日(土)の毎週土曜 ※ただし、8月31日(土)はお休み

時 間：10:00～18:00 (レンタル受付 10:30～17:30)

場 所：橋楽亭 (コレド室町3 3F)

料 金：浴衣着付け 3,000 円

浴衣レンタル 5,500 円

問合せ先：新日屋 03-5652-5403(平日 10:00～17:00)



着付けイメージ

#### ⑤ 「浴衣でめぐる日本橋 supported by 東レ」

江戸の情緒あふれる日本橋の各所で撮影された「浴衣を着て行きたくなる」フォトジェニックなスポットを SNS でも話題の写真家 Naohiro Yako 氏が撮影。江戸桜通り地下歩道のサイネージで放映します。浴衣は日本橋に居を構える総合化学メーカー「東レ株式会社」が提供。

期 間：7月5日(金)～9月23日(月・祝)

時 間：6:00～24:00 の間ランダムに表示

場 所：江戸桜通り地下歩道デジタルサイネージ

※日本橋の街や人について伝える WEB マガジン「Bridgine」<https://bridgine.com/> でも公開予定

主 催：Collaboration Magazine「Bridgine」

協 力：東レ株式会社

##### 【東レ株式会社のご紹介】

繊維、機能化成品、炭素繊維複合材料、環境・エンジニアリング、ライフサイエンスなどの分野でさまざまな先端素材を創出している総合化学メーカー。1926年の創立以来、日本橋に本社を構えて93年、現在では日本を含む26ヵ国・地域でグローバルに事業を展開しています。

今回提供した浴衣は、東レの高機能テキスタイル「セオ・アルファ®」を使用。星形と丸形の異なる断面の繊維を組み合わせたポリエステル原糸と特殊な繊維構造から生まれる毛細管現象により汗を素早く吸収し、軽くてサラサラしたドライ感を実現しました。モデルは2019年東レキャンペーンガールの松田紗和さんです。

**TORAY**

#### Naohiro Yako 氏 プロフィール



17歳よりVJ(ビデオジョッキー)として活動し、2002年クリエイティブスタジオ flapper3 Inc.設立メンバー、2010年からはオンラインレーベル"Bunkai-Kei records"を主宰。2012年文化庁メディア芸術祭審査委員会推薦作品賞受賞。2016年からはInstagramをメインにフォトグラファーとしてのキャリアをスタート。東京や大阪の近未来的な夜景写真が世界各国のメディアで取り上げられ話題を呼び、2年間で6万人までフォロワーが増えるなど、その活動の幅を広げている。  
<http://bunkai-kei.com> <http://flapper3.co.jp>

#### ⑥ 「ECO EDO 日本橋 アートアクアリウム 2019 ～江戸・金魚の涼～ & ナイトアクアリウム」

アートアクアリウム アーティストである木村英智が手掛ける、“アート、デザイン、エンターテインメント”と“アクアリウム”が融合した、日本が世界に誇る水族アート展覧会「アートアクアリウム」。和をモチーフにデザインされた芸術作品というべき美しい水槽の中を、金魚を中心とした観賞魚が優雅に舞い泳ぎ、光・映像・音楽・香りなどの最新の演出技術と融合した、日本が世界に誇る水族アートの展覧会です。現在までに累計945万人の有料入場者を動員しています。

期 間：7月5日(金)～9月23日(月・祝)

場 所：日本橋三井ホール(コレド室町1 5F ※エントランスは4F)



ECO EDO 日本橋 アートアクアリウム 2019  
メインビジュアル

## ⑦ 「アートアクアリウム夏祭り」

3年目を迎える、毎年好評の「アートアクアリウム夏祭り」。毎週末、“盆踊り”や“金魚すくい・金魚売り”などの催し物が開催され、お祭り気分を味わえる憩いの空間となります。今年は日本3大盆踊りである、「西馬音内盆踊り」・「郡上おどり」・「阿波踊り」をはじめとした、全国の盆踊りを体験いただける『全国盆踊り大集合 ～全国人気“盆踊り”を東京・日本橋で体験～』を初開催。それぞれ各地元の盆踊り団体の踊り手たちによる“盆踊り”をご覧いただいた後、一緒に盆踊りをお楽しみいただけます。

期 間：7月20日(土)～9月1日(日)の毎週末

場 所：福徳の森

入 場 料：無料(金魚すくい・金魚売りは有料)

※一部内容の変更、また雨天時・荒天時等は中止となる場合がございます。  
※盆踊りと金魚すくいの開催日については  
アートアクアリウム公式HP(<http://artaquarium.jp>)をご確認ください。



会場イメージ

## ⑧ 「日本橋エリアの金魚グッズ」

ECO EDO 日本橋 2019 テーマ“金魚”をモチーフにした商品が多数登場いたします。

<金魚グッズ例>



店舗：まかないこすめ(コレド室町33F)  
名称：金魚すくいハンドケアセット  
価格：2,484円(税込)



店舗：日本橋 木屋(コレド室町11F)  
名称：葉味おろし純銅江戸流金  
価格：1,944円(税込)



店舗：日本橋 箸長(コレド室町32F)  
名称：京焼 金魚箸置き  
価格：756円(税込)

### ECO EDO 日本橋とは

2008年8月、名橋「日本橋」保存会や地元団体、企業などが中心となり「ECO EDO 日本橋 実行委員会」を設立。「人と人、人と自然のつながりを大切にしていた江戸の人々の共生の精神を今に伝え日本橋ならではの新たなスタイルを創造し、発信するまちへ」をテーマに掲げ、『ECO EDO 日本橋 宣言』を行いました。

### 名橋「日本橋」保存会とは

天下の名橋であり、五街道の起点である「日本橋」が高速道路によって覆われ、美観が損なわれてしまったのは1963年のこと。この「日本橋」を蘇らせ、少しでも良い状態で後世に伝えたいと、1968年に本会が発足しました。現在は「橋洗い」など様々なイベントを通して、日本橋のPR活動を行っています。

※ECO EDO 日本橋 2019の詳細やその他イベントについては、7月上旬頃に配信する第2弾ニュースレターで最新情報をお届けします。